

学 校 だ よ り

平成27年10月30日



11月号

NO. 320

横浜市立茅ヶ崎小学校
校長 岩本 悦子

「お 陰 様 で 」

職員玄関横のさざんかの花が咲き始め、深秋を感じる頃となりました。

お陰様で10月18日に開催いたしました第27回 茅ヶ崎小学校の運動会は天候に恵まれ、今年度のテーマ、「こ心を1つに ううきうきわくわく ははりきって くくいのない運動会にしよう。」の基、日ごろの学習で身に付けた力と技と心いきを十分に発揮することができました。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様に御来校頂き、温かい応援と御協力を頂きましたことを、お礼申し上げます。



さて、「お元気ですか」と尋ねられた時、「はい、お陰様で元気です。」と答えることができます。「お陰様で」という言葉には、次のような説があるそうです。昔、旅人が暑い夏の日差しをしのぐために木の陰で休んだり、雨を防ぐために木の陰で雨宿りをしたりしました。その木の陰に「お」を付けて「お陰」、さらに「様」を付けました。そこには「お陰様で、旅を続けることができました。」という感謝する気持ちが込められています。木は旅人のために枝を張り、葉を茂らせていたのではありませんが、木のお陰で旅を続けることができたのだと考えたのです。

運動会をご覧いただいた地域の方からお帰りの際、「すばらしい演技でしたね。演技をしているお子さんの姿は、実際よりとても大きく見えました。」「子どもたちの一生懸命な様子を見ているうちにお陰様で元気がでてきましたよ。」という温かいお言葉を頂きました。子どもたちの一生懸命な姿はたくさんの方々に感動を届けることができました。子どもたちは、自信をもち満足感を味わうことができました。そして、いろいろな方々に励まされ支えられているという「お陰様」の心に気づく機会になりました。

11月に入ると音楽のつどいに向けて、本格的に練習が始まります。運動会の経験を糧に練習に励み、自分自身の「よさ」を感じるとともに、周りの人への「感謝」の気持ちがさらに育まれることを期待しています。そして、「お陰様で、すばらしい音楽のつどいになりました。」と12月の学校だよりでお伝えしたいと思います。